

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」		
	(2)参加・体験活動の推進		
事業名	いきがづくり事業（若葉文化ホール）		
	千葉市若葉文化ホール改修完了記念特別公演 小椋佳「歌紡ぎの会」		
実施主体	指定管理者	(名称) ちばアートウインド運営企業体	
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961(内)90-2526

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）	
(市民主体、こども・若者) 2次評価は実施主体の自己評価内容と同等 (領域の広がり) 鑑賞の機会だけでなく、楽器の背景や歴史の説明、質問の場を設けるなど、来場者に対し、体験の要素を提供するような取り組みが必要だと考える。	
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
4 市民との関わり（満足度、周知度）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	

【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A：継続 <input type="checkbox"/> B：改善 <input type="checkbox"/> C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 ・高齢者方々にホールに足を運んでもらい、それを、いきがづくりにつなげていくということは、目標としても達成していると考えられる。 ・鑑賞だけでなく、体験を共有できるような場所としての仕組みを工夫することにより、さらに魅力ある事業になると思う。	